

## まえがき

先端科学研究所

所長 丹羽 修

埼玉工業大学先端科学研究所は平成 12 年 4 月に設立され、埼玉工業大学の工学系と情報社会関連の人文系の文理融合活動拠点として設置されています。最近の大きな変化としては、ものづくり研究センターが独立したセンターとして研究活動を開始したことが挙げられます。その結果、研究所には、現在、AI 研究センター、臨床心理センター、産学官交流センター、科学と仏教思想研究センターと国際交流研究センターの組織があり、科学技術関連の研究と地域支援、仏教思想科学研究、産学官連携および国際交流などの幅広い分野にかかわる研究と事業を推進しています。

今年度は、引き続き新型コロナウイルス感染症により国内や国際交流活動にかなり大きな影響がありました。しかし、若手研究フォーラムを 8 月 11 日に開催しました。今回は昨年実施できなかった基調講演を東北大学の本間格先生に依頼し、エネルギー関係で大変興味深い成果の紹介を行って頂きました。また、昨年度より実施している会場でのプレゼンテーションとポスターセッション、オンライン配信のハイブリッド型の開催を引き続き行い、多くの方に研究成果を報告することができました。

また、科学と仏教思想研究センターでも計 5 回の講演会をオンラインで実施し、そのメリットを最大限に生かして関西方面の講師の先生からもご講演頂いております。AI 研究センターも、2 回の講演会をハイブリッド型で実施し、最近の同分野の話題を紹介することができました。

一方、本年度も、海外との行き来が難しいため、国際交流研究センターでは、ベトナムダナン大学とのオンラインの交流会を 3 月 4 日に実施し、本学、ダナン大より IT、AI、環境などの分野の研究成果をそれぞれ紹介しました。

更に、先端科学研究所の臨床心理センターは、積極的に地域への貢献と心の科学などの研究を通して、社会科学分野においても貢献をしています。また、企業との産学・地域連携を促進するために先端科学研究所は、本学の研究シーズを積極的に埼玉県北部の商工会や企業に説明することを目的に産学官交流センターを中心に活動を行っています。今年度は、特に講演会に力を入れ、ハイブリッド型の講演会を 3 回実施し、地域との連携協定も締結しております。

以上の様に、埼玉工業大学先端科学研究所はその特色を生かしてこれからも「若手研究者育成」「地域貢献」と「国際交流」の三本柱を支える研究活動を発展して行きたいと考えております。

今後とも、皆様方のご指導とご支援を何卒よろしくお願い申し上げます。